

飯能市地域公共交通網形成計画(素案)に対する意見募集結果について

No.	意見者		区分	意見の概要	意見に対する市の考え方	
	地区	年代				
1	加治地区	20歳代	計画案に対する意見	8ページ	飯能駅一日平均利用者数は乗車・降車の合計だが、東飯能駅一日平均利用者数は乗車のみであることを補足してほしい。	飯能駅及び東飯能駅の一日平均利用者数につきましては、第5次飯能市総合振興計画(上位計画)の一部を抜粋したものととなりますが、ご意見のとおり、東飯能駅の一日平均利用者数は乗車のみであることを補足いたします。
				27ページ	宮沢は高萩線が利用されているので、狭山市駅西口【下川崎経由】線沿線地域に区分されているのは適切でないのではないか。	ご意見のとおり、路線としては高萩線となりますが、前回の調査結果との比較等、地区別の視点も必要となることから、今回の調査では、狭山市西口【下川崎経由】線沿線に区分しております。
				72ページ	飯能駅までの利用が多いならば、名栗・原市場方面からのバスは飯能駅に行った後、東飯能駅に行った方が利用者が増えないだろうか。なお、飯能駅までの利用が多い旨は、第4章の公共交通の現況に関する調査の中には記述がない。	市民アンケートの結果につきましては、今後の運行の参考にいただくため、全て、交通事業者にもお伝えしております。ご意見として承り、併せて交通事業者にもお伝えいたします。
				76ページ	基本目標2に対する目標指標について、市民アンケート結果の目標値が低く感じる。せめて50%程度に引き上げるか、どうしてこの数値なのか。	目標値につきましては、平成24年度のアンケート結果では39%、今回のアンケート結果では41%となり、前回の調査結果より2ポイント増加したことから、目標値を43%と設定しております。
				78ページ	トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園も都市回廊空間であることから、公共交通を利用して行けるように検討してほしい。	トーベ・ヤンソンあけぼの子ども森公園への移動につきましては、現在、元加治駅から観光案内看板や指導標を整備するなど、既存の鉄道駅やバス停からの道順をご案内しております。今後の検討につきましては、ご意見として承ります。
				82ページ	バス停の待合環境の改善が基本計画以降進んでいないことから、役割分担を具体的に示してほしい。	基本目標1の施策3の①にバス停の待合環境の改善を掲げ、関係者の役割分担により検討・実施するとしています。バス停の待合環境の改善につきましては、バス停が設置してある場所によってもそれぞれの役割が変わってくるため、今後、計画に基づき具体的にお示しできるよう検討を進めてまいります。

No.	意見者		区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
	地区	年代			
			87ページ	バスまちスポットの利用促進も行うべきである。例えば、座って待てる設備を置いてもらう、バス停へのバスまちスポットの掲示等が考えられる。	ご意見のとおり、バスまちスポットを有効的に活用していただき、路線バスの利用促進につなげていけるよう努めてまいります。
			95ページ	推進体制の運行事業者の欄に、「運行実績等のモニタリングへの協力」とあるが、利用実績の把握・開示には事業者も主体的に取り組んでいただきたい。	ご意見として承り、交通事業者にもお伝えいたします。
			その他の意見	路線バスの維持・確保	加治地区、精明地区は住宅が面的に広がっており、路線バスでのカバーが難しいこと、目的となる施設が比較的近く、外出が容易であることから、路線バスに不満を抱きやすいのはある程度仕方ないと思う。社会資源の活用には、路線バスとの競合は避けてほしい。また、路線の先の近隣市が当該路線をどう捉えているか把握し、維持・発展に協力できることがあればよいと思う。
2	精明地区	60歳代	その他の意見	精明地区の公共交通(路線バス)はないに等しいと思う。名栗地区と比べるとどうか。平等な税金の使い方をしてください。	精明地区内を運行する路線バスが、地域住民の生活の足として不十分であることは、市としても把握しております。以前は、生活の中で利用できる便数が運行されていたものが、利用者の減少により徐々に少なくなり、現在の本数に至っているという状況です。精明地区内には工業団地があり、操業している企業に多くの従業員が通っていること、また、本年11月には宮沢湖にメッツァビレッジがオープンすることなど、地区内の交通環境の変化が予想されます。今後は、計画に基づき、交通事業者と協議を行うなど、精明地区の移動手段の確保に向けた検討を地域の皆さんとともに進めてまいります。また、路線バスの維持確保のために市が交付している補助金は、赤字路線の運行経費の一部補助として支出しているものです。これは、名栗地区を含む沿線住民の通勤通学などの生活の足の確保だけでなく、市内を訪れる観光客の移動手段としても重要な位置づけとなる公共交通を維持することを目的として交付しておりますので、ご理解いただきたいと考えます。

No.	意見者		区 分	意見の概要	意見に対する市の考え方
	地区	年代			
				<p>精明地区に小型バス(マイクロ)の循環コースを設置してください。</p>	<p>本計画では、新たな交通手段の導入について、路線バスやタクシーなど、既存の公共交通と競合しないことを前提として、地域の皆さんに利用される新たな交通手段を導入することができるとしています。新たな交通手段としては、乗合タクシーや貸切バスの運行、スクールバスへの混乗や企業送迎バスの活用、更には自家用有償運送、無償運送等の多様な選択肢から地域の実情に合わせて地域が主体となり選択するものとしております。</p>
				<p>精明地区ばかり老人福祉施設をつくらないでほしい。または、老人福祉施設の送迎バスを利用できるよう検討してください。</p>	<p>老人福祉施設の送迎バスの活用の検討につきましては、本計画の基本目標3の施策2の②に「送迎バスの活用の検討」を掲げています。老人福祉施設の送迎バスに限らず、精明地区内を走る送迎バスに住民の混乗が可能かどうかについて、必要に応じて検討してまいります。</p>
			タクシー券の配布	<p>65歳以上の方に対してタクシー券の交付等を検討してください。</p>	<p>本計画では、通勤・通学のみならず、買い物や通院など日常のおでかけを支える公共交通網形成等の考えから、暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして、市、交通事業者、地域が一体となった取組を実施していくこととしています。</p> <p>その中で、タクシーも市内の大切な公共交通の一つと考えておりますが、福祉施策等との関係もございますので、総合的な検証を行っていきたいと考えます。</p>

No.	意見者		区分	意見の概要	意見に対する市の考え方	
	地区	年代				
3	精明地区	60歳代	その他の意見	タクシー券の配布	西武バスの飯能駅北口～狭山市駅西口行の下川崎経由の運行本数については、土日祝日1本のみである。病院が休みとなるため、できればタクシーを利用できないかと思う。地区内にはタクシー会社もあるため、タクシー券を交付していただければ幸いです。	精明地区内を運行する路線バスが、地域住民の生活の足として不十分であることは、市としても把握しております。以前は、生活の中で利用できる便数が運行されていたものが、利用者の減少により徐々に少なくなり、現在の本数に至っているという状況です。 この様な状況の中で、タクシーも市内の大切な公共交通手段の一つであるため、ご利用いただきたいと考えておりますが、福祉施策等との関係もございまして、総合的な検証を行っていきたいと考えます。
4	精明地区	70歳代	その他の意見	精明地区の移動手段	精明地区の公共バスはないです。(土日祝日1本)精明地区にバスを通してください。精明地区にも税金を使わせてください。(名栗地区方面に偏らない使い道をしてください)	精明地区内を運行する路線バスが、地域住民の生活の足として不十分であることは、市としても把握しております。以前は、生活の中で利用できる便数が運行されていたものが、利用者の減少により徐々に少なくなり、現在の本数に至っているという状況です。 精明地区内には工業団地があり、操業している企業に多くの従業員が通っていること、また、本年11月には宮沢湖にメッツァビレッジがオープンすることなど、地区内の交通環境の変化が想定されます。今後は、計画に基づき、交通事業者と協議を行うなど、精明地区の移動手段の確保に向けた検討を地域の皆さまとともに進めてまいります。 また、路線バスの維持確保のために市が交付している補助金は、赤字路線の運行経費の一部補助として支出しているものです。これは、名栗地区を含む沿線住民の通勤通学などの生活の足の確保だけでなく、市内を訪れる観光客の移動手段としても重要な位置づけとなる公共交通を維持することを目的として交付しておりますので、ご理解いただきたいと考えます。

No.	意見者		区分	意見の概要	意見に対する市の考え方	
	地区	年代				
			タクシー券の配布	70歳からタクシー券を交付してください。(車がないため、買い物ができない)	本計画では、通勤・通学のみならず、買い物や通院など日常のおでかけを支える地域公共交通網形成等の考えから、暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして、市、交通事業者、地域が一体となった取組を実施していくこととしています。 その中で、タクシーも市内の大切な公共交通の一つと考えておりますが、福祉施策等との関係もございますので、総合的な検証を行っていきたいと考えます。	
			福祉センターバスの活用	総合福祉センターのバスを利用して買い物ができるようにしてほしい。	総合福祉センター送迎バスを買い物、通院等に有効活用できないかにつきましては、これまでもご意見を頂戴しています。総合福祉センターの送迎バスは、特定旅客自動車運送事業として、福祉センターの利用者を各地区の停留地点から福祉センターまで送迎するために、飯能市社会福祉協議会の委託事業として実施しているものです。旅客自動車運送事業者が受託していますが、行く先は福祉センターのみ、途中下車はできないこととなっています。ご意見として承り、福祉の関係課に伝えるとともに、「送迎バスの活用検討」として、今後も継続して検討してまいります。	
5	南高麗地区	60歳代	その他の意見	小さな移動手段の検討・確保	現在の路線バスを継続できるのがベストですが、①デマンド交通②乗合タクシー③スクールバス・福祉センター送迎バスへの一般住民の混乗について検討してください。	本計画では、既存の公共交通(路線バス)の維持・確保を軸に掲げておりますが、並行して、利用実態に即した移動手段の検討や鉄道、路線バスを補完する小さな移動手段をつくることについても検討・実施ができるものとしております。 また、送迎バスの活用検討につきましても、施策に掲げておりますが、法に抵触しないこと、既存の公共交通と競合しないことを前提として、混乗の検討を進めることになると考えております。

No.	意見者		区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
	地区	年代			
			路線バス利用者増加策の提案	人口が少しずつ減少しているので、通勤・通学客を増やすことは難しいため、それ以外のお客様を増やすようにする。①スゴ足手帳のような方法(乗車ごとにポイントが貯まり、一定数貯まったら、特典がある)②市内の各種イベントと連携する(路線バスを利用してイベントに参加すると特典がある)	①乗車ごとにポイントが貯まり、一定数に達したら特典をつけるというご提案につきましては、現在、ICカード(SUICA及びPASUMO)を利用しバスを利用した場合、乗車金額の積み上げにより特典が付き、一定の金額に達成した場合に次の乗車の際、割引される「バステ」という制度があります。 現金や回数券では特典は付きませんが、このサービスは、割引率が大変高く、利用金額が多くなるほど割引率が上がるというものです。現在、知らない間に割引されているということはあるものの、特典サービスを理解している人が少ないというのが現状です。今後、市においても、定期的にお得なサービスについて周知するとともに、利用促進に努めたいと考えます。 ②今後、交通事業者等関係団体との連携を強化し、利用促進につながる楽しい取組の検討を進めます。バスを使ってもらう取組ということでは、路線バスの利用促進を目的として、路線バスを利用したくなるような、路線バス使ったツアーやスタンプラリー等を実施したいと考えております。
			新たな路線運行の提案	間野黒指線について、難しい点もあるが、飯能駅～岩淵(ガソリンスタンド)～保入沢～黒指、または飯能駅～岩淵(ガソリンスタンド)～保入沢～美杉台～飯能駅を検討してください。これにより、朝1便、夜1～2便増えると有難いです。	ご意見として承ります。 ご意見につきましては、事業者にもお伝えいたします。
6	東吾野地区	70歳代	その他の意見	小さな移動手段の検討・確保 少人数乗りのワゴン車で市内を巡回し、目的地まで乗り降り自由。300m位の間隔に、西川材でつくった小型ベンチを置いた待合所を設置する。元気なお年寄りが増えれば、医療費が削減できます。	今後、地域の実情や必要に応じて小さな移動手段を検討する際の参考とさせていただきます。 また、多くの方にご利用いただく移動手段とするためには、待合環境の改善や整備が必要と考えております。公共交通や新たな交通手段を利用することにより、これまで以上に「おでかけ」しやすい環境が整い、高齢者の健康維持にもつながると考えております。

No.	意見者		区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
	地区	年代			
			小さな移動手段の検討・確保	社会福祉協議会が中心となり、住民互助組織をつくる。互いに思いやり、自分のできることで地域に貢献する仕組みをつくる。A.自分のできること(例えば、車の有償運転ボランティア)B.地域限定の通貨、またはチケットを発行し、依頼者は購入(市内商店で買い物ができるようにする)C.事務を担当したり、両者の橋渡し役(コーディネーター)D.この助け合いの事業に賛同し、献金してくれる人	今後、地域の実情や必要に応じて小さな移動手段を検討する際の参考とさせていただきます。 なお、「地域による主体的な組織づくり」につきましては、本計画の基本目標3の施策1の③に掲げ、取組を進めていくこととしております。
7	原市場地区	40歳代	その他の意見	路線バスの接続 中藤から新寺、新寺から名栗方面への接続をよくしてください。	本計画では、新寺バス停を連絡拠点として位置付け、接続を良くすることにより、乗継など新たな使い方を可能にすることも掲げておりますので、ご意見につきましては、交通事業者にもお伝えするとともに、連携を強化し検討を進めてまいります。
8	狭山市	80歳代	その他の意見	小さな移動手段の検討・確保 飯能市に嫁いで60年、事情があり狭山市に移住して3年になります。昨年、免許証を返納しましたが、西武バスで飯能市を訪れ、中央公民館に月5回、そして、眼科や耳鼻科は飯能市の医者をかかりつけとしてます。西武バスの狭山市駅西口発が8時頃と12時半頃の計2本と、とても身動きが取れないため、大きな車ではなく、コミュニティバスで小回りができる小型車を出してもらえないか、検討をお願いします。	ご利用いただいている西武バス笹井経由の路線バスにつきましては、利用者の減少等により、昨年12月1日のダイヤ改正において、3便から1便減便になったと交通事業者から伺っております。 市といたしましては、継続して路線バスの利用促進に努めますが、コミュニティバスを運行するという考えはありません。 小さな移動手段の検討・実施につきましては、今後、地域の実情や必要に応じて地域と行政、そして交通事業者が一体となって検討を進めることとしております。